

総合評価

総合評価

はじめに

当古賀市男女共同参画審議会は、平成26年度は、点検・評価の対象となる事業の実施年度が平成25年度であり、第2次男女共同参画計画実施の2年目にあたり審議委員会委員の意見に基づき点検、評価すべき重点施策48項目中17項目を選定し、これまでと同様に点検・評価を実施した。今年度も、点検・評価をおこなう事業の担当課職員の出席を得て、直接質疑応答を実施できたことから、担当課の事業内容を深く理解することができ、点検・評価の向上につなげることが出来た。

平成25年度の実施と成果・課題

上記のとおり、平成25年度は特に重要と思われる具体施策について、審議委員会委員の意見に基づき点検、評価を実施した。なお、点検、評価項目が17項目であるため、本稿では特筆すべき以下の6項目についての記述に留め、他の重点施策における点検・評価に関しては「重点施策における審議会評価・意見」を参照したい。

1.

2.

3.

4.

5.

6.

要 望

○昨年度に比べて、事業に関する内容や成果の表記がわかりやすく記載されてきたが、人数の比較においては2～3年の実績を比較するとより評価しやすくなるので、講師の実績と一緒に表記いただきたい。

○出前講座等の寸劇については、マンネリ化しているので身近なテーマを捉えて新規作成し、地域へ啓発を推進していくことが望ましいと考える。また、各課の事業取り組みについては評価できるが、さらに市民への周知やPR等を工夫していただきたい。

○保育所・幼稚園等については、公立・私立の差が懸念されるが連携をしながら、今後も実践を深めていただきたい。

○一行詩については、具体的な整理の時期に来ているので、見直しをしていただき、企業等にも働きかけてほしい。

○審議会等の構成目標については、対象およびその数値を具体的に設定しなければ到達できないと思われるので年度ごとに、改善の対象とする担当課を設定し、具体的な目標を立てること、充て職の場合も次席でカバーするなどの工夫も考えていただきたい。

○人事課については、管理職男女それぞれが30%以上という目標の到達が審議会委員40%に繋がることから『進行管理を行なっていく』との人事課の取り組みに期待したい。

まとめ

国の調査では、各分野における指導的地位に女性のしめる割合はまだまだ低い状況であり、GGI(ジェンダー・ギャップ)においては135か国中105位と格差が大きく、順位も低い状況である。その中、成長戦略の一つとして、女性の輝く社会を掲げ、平成26年10月には「すべての女性が輝く社会づくり本部」が設置された。古賀市では、「第2次古賀市男女共同参画計画」が施行され3年となるが、いまだ「男は仕事、女は家庭を守る」という性別分担意識は根強く残っていると思われる。本会議は、基本法の理念に基づき、職員・各担当課が高い人権意識と強い意志を持って着実に取り組みを実施し男女共同参画社会の実現に向けて各施策がより一層推進されることを強く期待する。